

刺傷事案の増加及びユダヤ教新年祝祭日期間をひかえた注意喚起について

在イスラエル日本国大使館

平成28年9月20日

1 昨年10月に急増したパレスチナ人によるユダヤ人（治安要員を含む）を狙ったテロ事案は減少傾向にありましたが、以下のとおり、先週16日（金）以降20日（火）朝までの間に計9件の事案が発生しています。

（1）16日（金）午後、エルサレム旧市街ダマスカス門において、ヨルダン人旅行者によるナイフを使った刺傷未遂事件が発生、犯人はその場で警察官により射殺されました。犯人の所持品からは他にナイフ2本が発見されています。

（2）19日（月）朝、エルサレム旧市街ヘロデ門付近において、パレスチナ人による警察官（男女2名）に対する刺傷事件が発生、女性警察官は首を切られ重体、男性警察官は重傷を負いました。犯人は、その場で警察官に撃たれ、重体となりました。

（3）その他、ヨルダン川西岸地区において、入植地におけるイスラエル兵士に対する車両突入事件、ヘブロン市におけるイスラエル兵士に対する刺傷事件4件、イスラエル車両（バス）に対する投石事案が発生しています。

2 以上を受けて、当地治安当局は、10月のユダヤ教新年祝祭日期間にかけて、エルサレム、特に旧市街及び「神殿の丘」周辺における警察官増員等、警備を強化するとしています。

3 つきましては、以上の状況に配慮し、当地の報道や在イスラエル日本国大使館のホームページ等より最新の情報の入手に努めて頂き、エルサレム旧市街などの刺傷事案等が発生している場所には近づかないなど、事案に巻き込まれないように安全対策には最大限の注意を払ってください。

以上